

学校名	神川町立神川中学校
所在地	児玉郡神川町新里450
電話	0495-77-2409

1 本校の概要

神川町は、壮大な山が方々に見えるのどかな町であり、学校からの眺めも美しい。本校は、町内に一つの中学校で、生徒数373人の中規模校である。「夢と志にあふれた活力ある学校」を目指し、町全体で教育への取組を行っている。また、平成26年度に、校舎の改修工事が終了し「図書のにわ」という開放的な図書空間も設置された。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書活動の充実
- ・学校図書館等の環境の工夫

(2) 実践の概要

ア 朝読書

落ち着いた雰囲気では学校生活スタート出来るよう、朝の会の前に10分間の朝読書を行う。また、決まった時間に読書を行うことにより、自然と読書の習慣を身に付けさせる。

イ 図書委員による本の紹介

「読書の呼びかけポスター」を図書委員会で作成し、各教室や廊下に掲示する。そして、読書月間には、図書委員が読んだ本やおすすめの本の紹介を行う。生徒同士の呼びかけやおすすめの本の紹介により、本への関心を高める。

ウ 読書記録

個人ごとに、読んだ本のページ数を記録用紙に記録する。「読書ページ合計数」を集計し、学年ランキングを作成、掲示する。他の生徒がどの程度読書をしているのか知ることにより、読書への意識を高める。

エ 学級文庫

本を身近に感じる環境作りを目指し、学級文庫として本の貸出しを行う。月に一回の委員会の際に、各学級の図書委員が本を選んで持っていく。学級に図書室の本を置くことにより、図書室にある本を知ってもらい来室者を増やす。

オ 設備の充実

校舎の改修を期に、昇降口を入ってすぐの場所に「図書のにわ」が造られた。「図書のにわ」は、開室時間を定められていないため、誰でもいつでも利用できる。10分間の休み時間にも利用でき、数人が集まっての利用も可能なため、多くの生徒が気軽に本を見ている。また、本の収納スペースも増えたため、生徒や教職員のアンケートをもとに、学期に一度本を購入している。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

生徒同士の呼びかけや生徒への購入希望アンケート、各学級への学級文庫の貸出により、本への興味・関心を高めることができています。「図書のにわ」には、毎日多くの生徒が集まり、みんなで本を見たり、勉強をしたりしている姿が見られる。

(2) 課題

人気のある本のジャンルが偏っているため、なるべくたくさんのジャンルに興味を持ってもらえるよう、図書の選定を工夫していかなければならない。また、図書室を利用した授業はあまり行われていないため、全校生徒に図書室を利用してもらえるよう、授業での利用も考えていきたい。